

調査の結果 調査結果の解説

1 電話d e詐欺に関する県民の意識について

(1) 名称の認知度

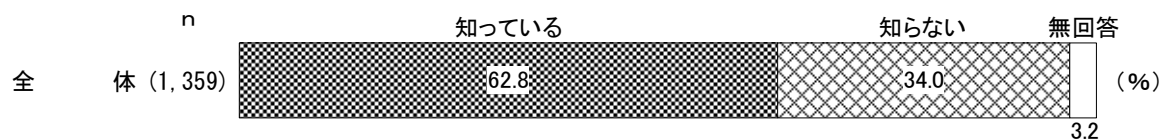
◇「知っている」が6割を超える

未だ被害が多発しており、深刻な状況にある「電話d e詐欺」の被害を防止するために、県警や県では様々な広報媒体を使って県民の皆さまに「電話d e詐欺」に関する情報を提供しています。

今後、より効果的な広報啓発活動を実施するため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問1 県では、「振り込め詐欺」をはじめとする「特殊詐欺」に代え、「電話d e詐欺」の名称を用いています。あなたは、この名称を知っていますか。（○は1つ）

<図表1-1>名称の認知度



「電話d e詐欺」の名称の認知度を聞いたところ、「知っている」(62.8%)が6割を超えて高くなっている。

一方、「知らない」(34.0%)は3割台半ばとなっている。(図表1-1)

【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“長生地域”(80.0%)が8割で高くなっている。

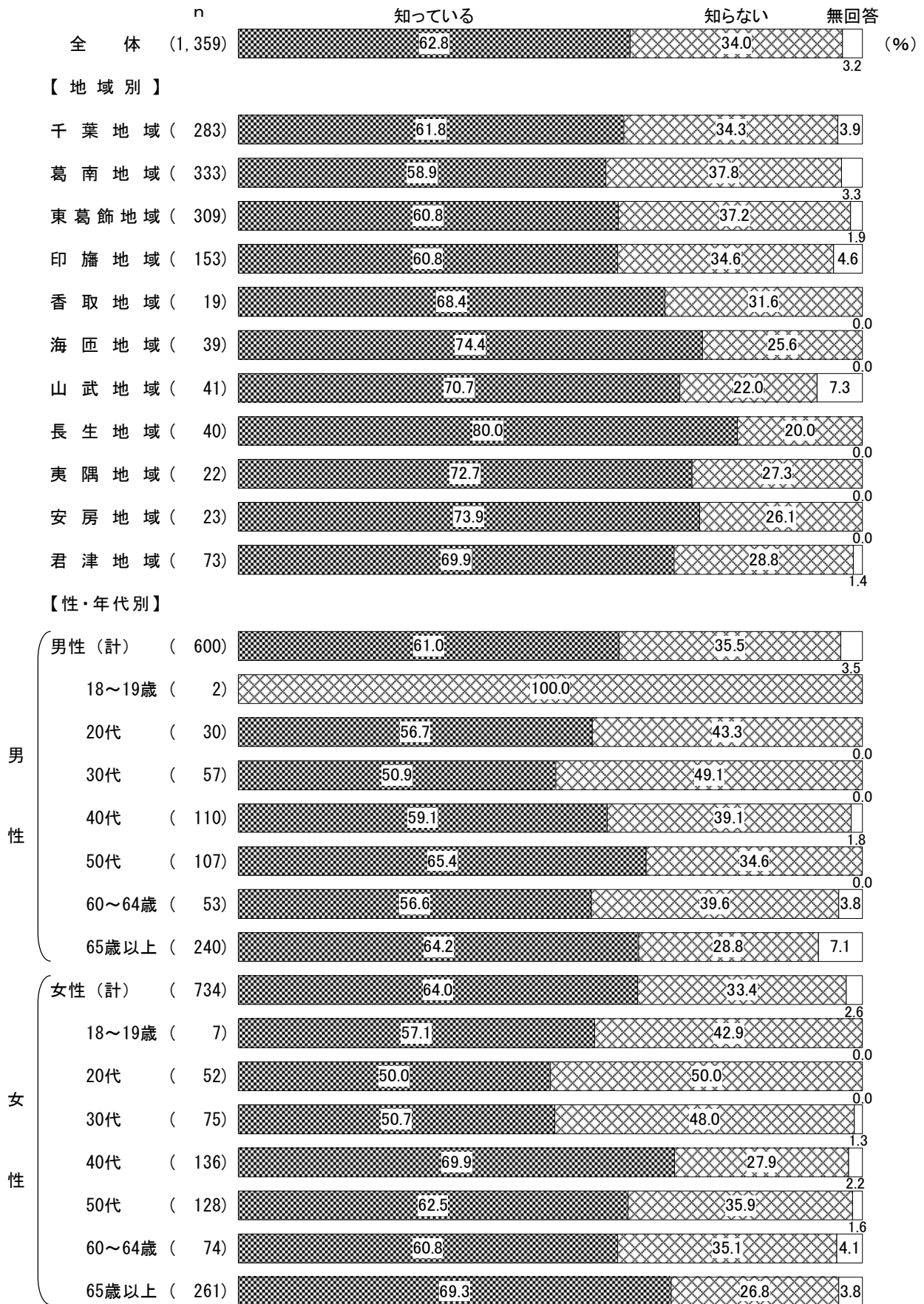
(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は女性の65歳以上(69.3%)が約7割で高くなっている。

一方、「知らない」は女性の20代(50.0%)が5割、男性の30代(49.1%)と女性の30代(48.0%)が約5割で高くなっている。(図表1-2)

<図表1-2>名称の認知度／地域別、性・年代別

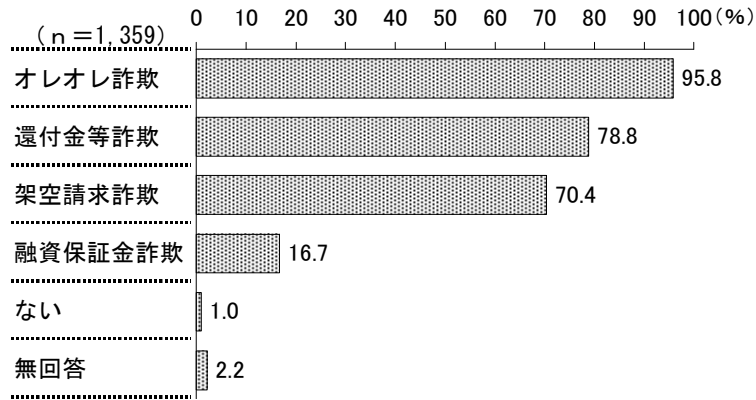


（2）電話 d e 詐欺の手口に対する知識

◇「オレオレ詐欺」が9割台半ば

問2 電話 d e 詐欺のうち、あなたの知っている手口はどれですか。（○はいくつでも）

＜図表 1－3＞電話 d e 詐欺の手口に対する知識（複数回答）



電話 d e 詐欺の手口に対する知識を聞いたところ、「オレオレ詐欺」(95.8%) が9割台半ばで最も高く、以下、「還付金等詐欺」(78.8%)、「架空請求詐欺」(70.4%)、「融資保証金詐欺」(16.7%)が続く。(図表 1－3)

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表 1－4)

【性・年代別】

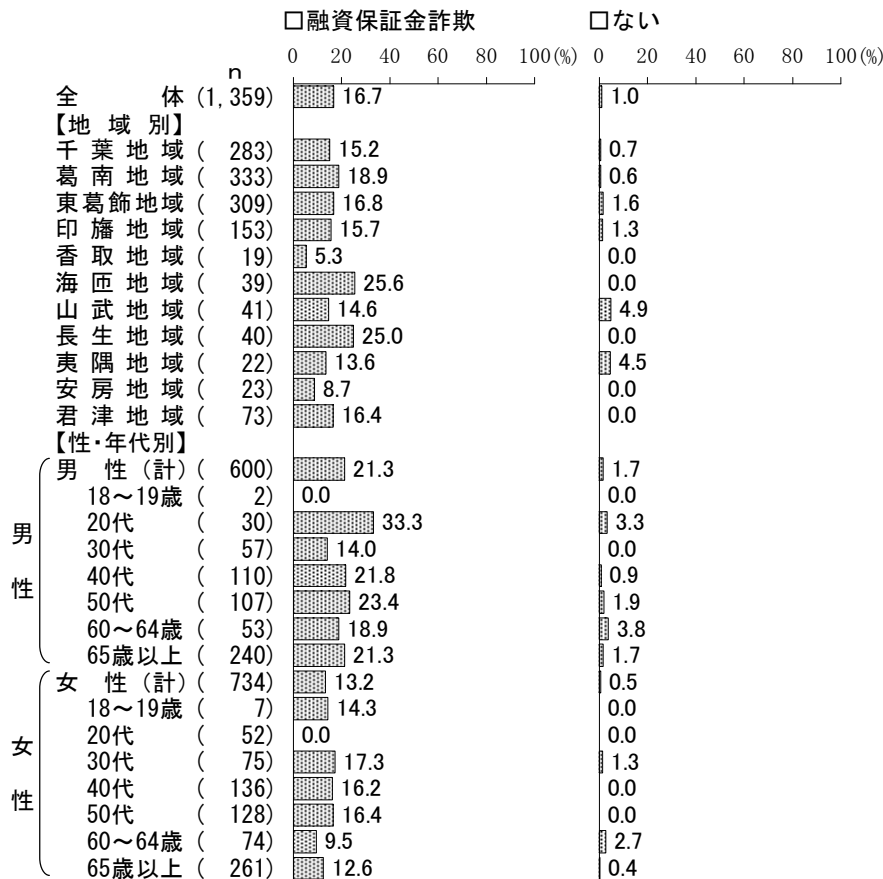
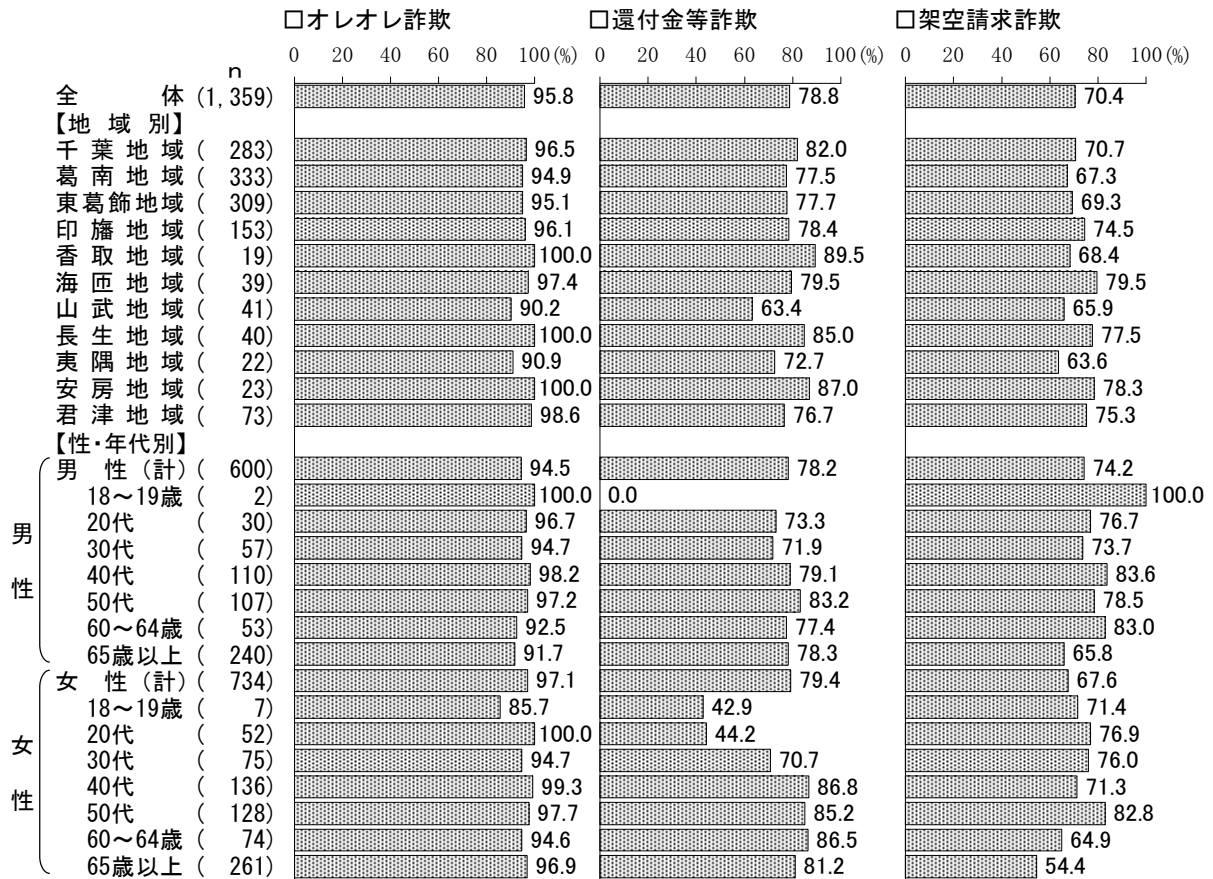
性・年代別にみると、「オレオレ詐欺」は女性の40代(99.3%)が約10割で高くなっている。

「還付金等詐欺」は女性の40代(86.8%)が8割台半ばで高くなっている。

「架空請求詐欺」は男性の40代(83.6%)が8割台半ば、男性の60～64歳(83.0%)と女性の50代(82.8%)が8割を超えて高くなっている。

「融資保証金詐欺」は男性の20代(33.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表 1－4)

<図表1-4> 電話de詐欺の手口に対する知識（複数回答）／地域別、性・年代別

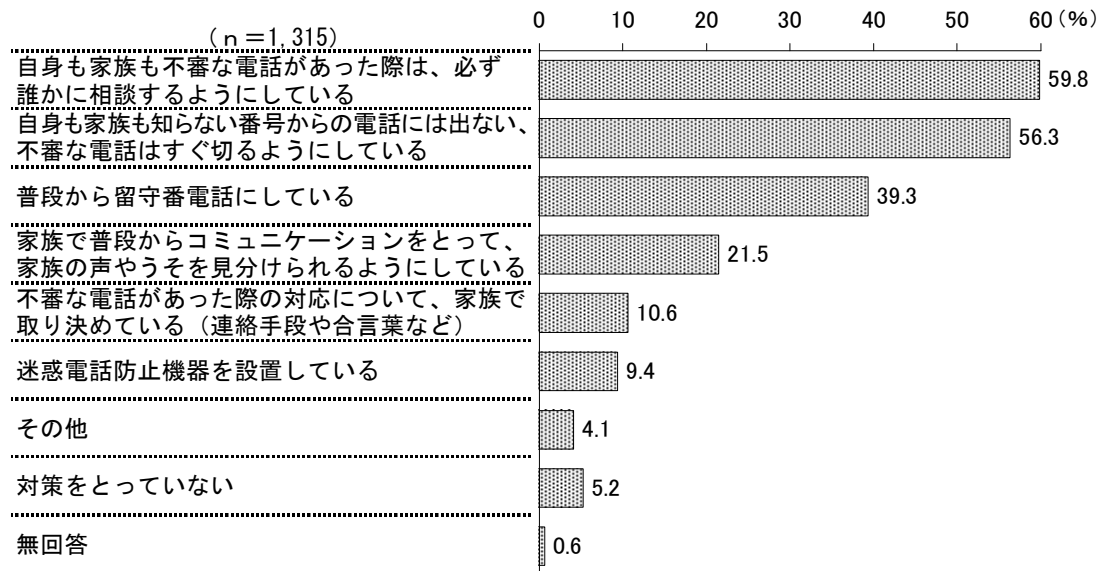


（2－1）電話d e 詐欺への対策

◇「自身も家族も不審な電話があった際は、必ず誰かに相談するようにしている」が約6割

（問2で「オレオレ詐欺」、「還付金等詐欺」、「架空請求詐欺」、「融資保証金詐欺」とお答えの方に）
 問2－1 知っている手口に遭った場合に、あなたがとっている、またはとろうと考えている
 対策はありますか。（○はいくつでも）

＜図表1－5＞電話d e 詐欺への対策（複数回答）



電話d e 詐欺で知っている手口で「オレオレ詐欺」、「還付金等詐欺」、「架空請求詐欺」、「融資保証金詐欺」と回答した1,315人を対象に、知っている手口に遭った場合にとっている、またはとろうと考えている対策を聞いたところ、「自身も家族も不審な電話があった際は、必ず誰かに相談するようにしている」(59.8%) が約6割で最も高く、以下、「自身も家族も知らない番号からの電話には出ない、不審な電話はすぐ切るようにしている」(56.3%)、「普段から留守番電話にしている」(39.3%)、「家族で普段からコミュニケーションをとって、家族の声やうそを見分けられるようにしている」(21.5%) が続く。(図表1－5)

【地域別】

地域別にみると、「不審な電話があった際の対応について、家族で取り決めている（連絡手段や合言葉など）」は“印旛地域”（15.5%）が1割台半ばとなっている。(図表1－6)

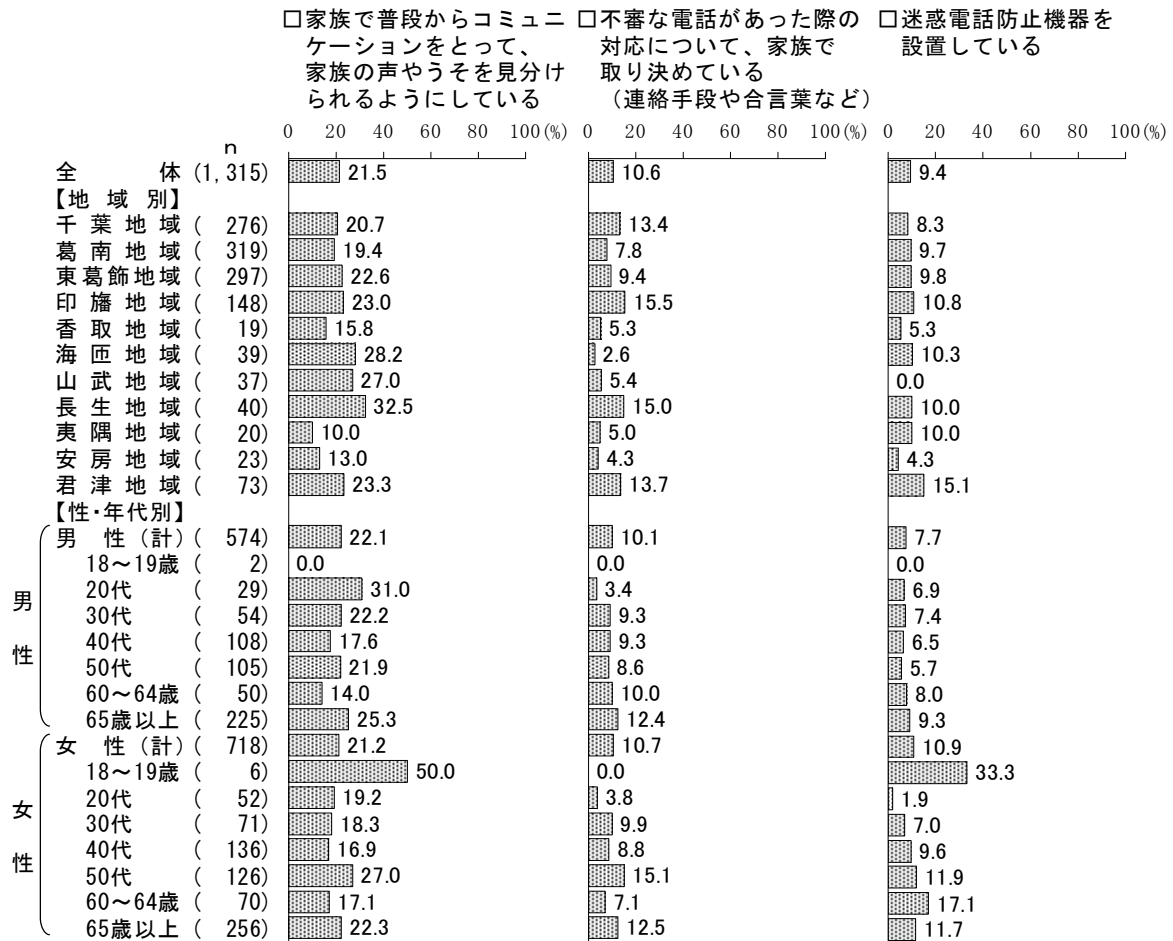
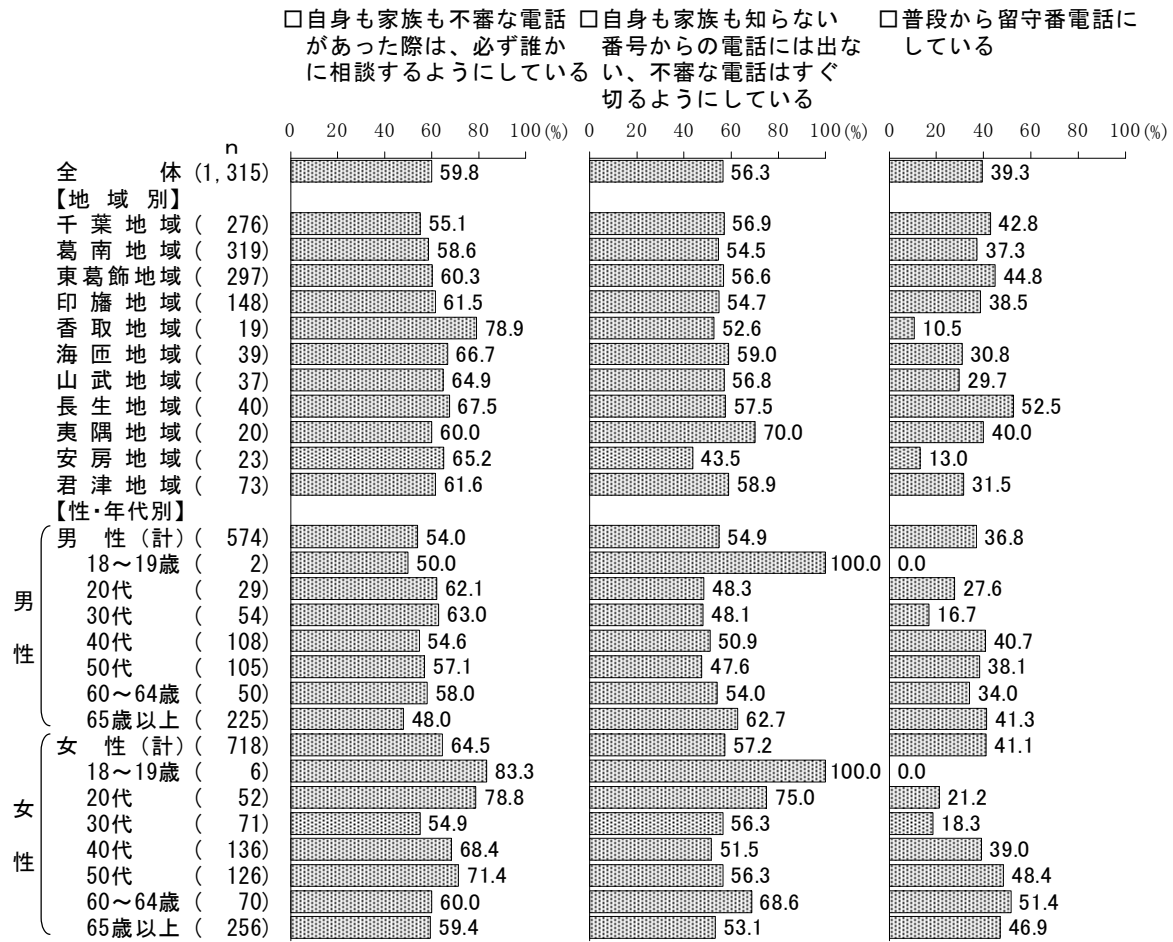
【性・年代別】

性・年代別にみると、「自身も家族も不審な電話があった際は、必ず誰かに相談するようにしている」は女性の20代(78.8%) が約8割、女性の50代(71.4%) が7割を超え、女性の40代(68.4%) が約7割で高くなっている。

「自身も家族も知らない番号からの電話には出ない、不審な電話はすぐ切るようにしている」は女性の20代(75.0%) が7割台半ば、女性の60～64歳(68.6%) が約7割で高くなっている。

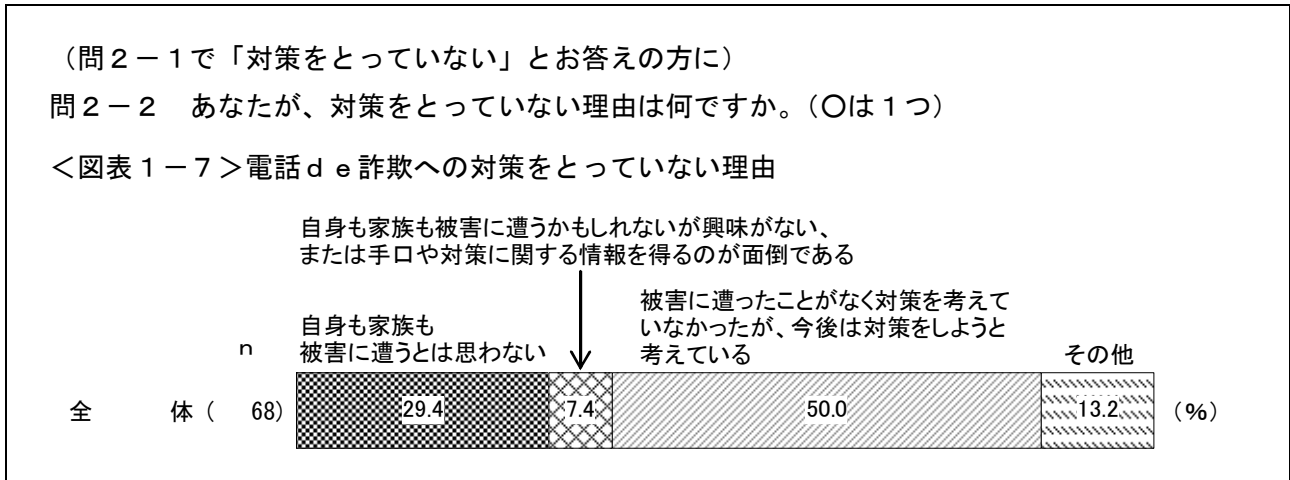
「普段から留守番電話にしている」は女性の60～64歳(51.4%) が5割を超え、女性の50代(48.4%) が約5割、女性の65歳以上(46.9%) が4割台半ばで高くなっている。(図表1－6)

<図表1-6> 電話de詐欺への対策（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



（2-2）電話d e詐欺への対策をとっていない理由

◇「被害に遭ったことがなく対策を考えていなかったが、今後は対策をしようと考えている」が5割



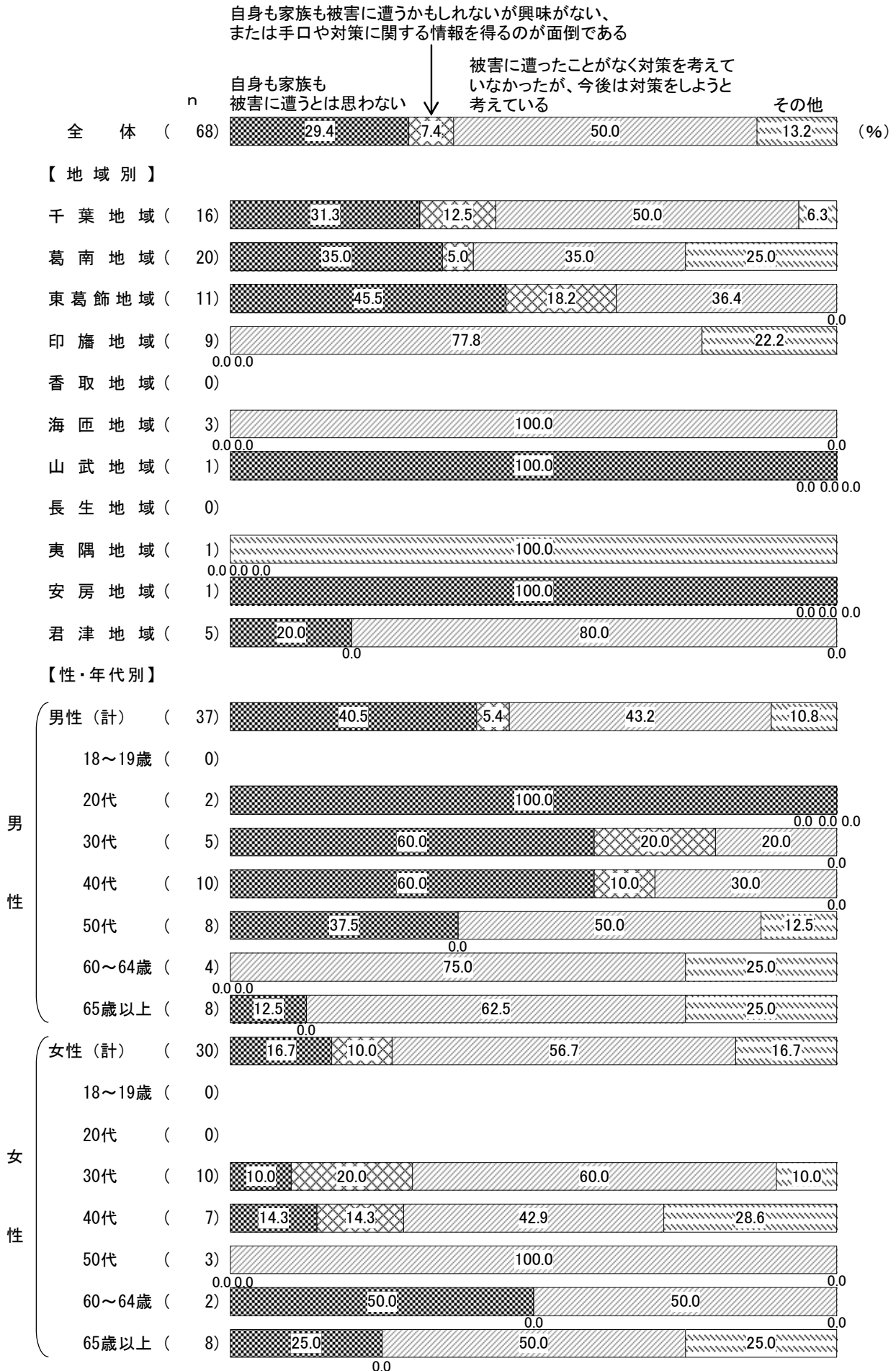
電話d e詐欺で知っている手口に遭った場合の「対策をとっていない」と回答した68人を対象に、その理由を聞いたところ、「被害に遭ったことがなく対策を考えていなかったが、今後は対策をしようと考えている」（50.0%）が5割で最も高く、以下、「自身も家族も被害に遭うとは思わない」（29.4%）、「自身も家族も被害に遭うかもしれないが興味がない、または手口や対策に関する情報を得るのが面倒である」（7.4%）が続く。（図表1-7）

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。

（8ページ「報告書の見方（5）」を参照）

（図表1-8）

<図表1-8> 電話de詐欺への対策をとっていない理由/地域別、性・年代別

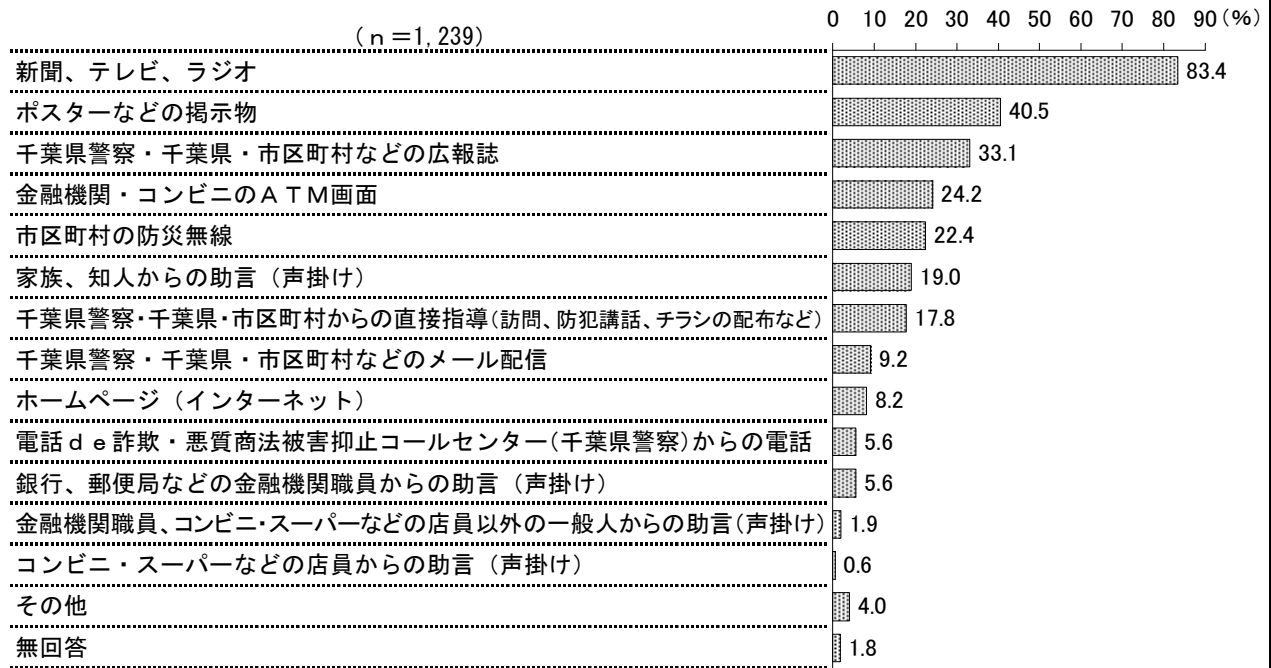


（2-3）電話d e 詐欺の手口を知った媒体

◇「新聞、テレビ、ラジオ」が8割を超える

（問2-1で「1」～「7」（対策をとっている、またはとろうと考えている）とお答えの方に）
問2-3 あなたは、どのような媒体で電話d e 詐欺の手口を知りましたか。（〇はいくつでも）

＜図表1-9＞電話d e 詐欺の手口を知った媒体（複数回答）



電話d e 詐欺で知っている手口に遭った場合の対策をとっている、またはとろうと考えていると回答した1,239人を対象に、どのような媒体で電話d e 詐欺の手口を知ったか聞いたところ、「新聞、テレビ、ラジオ」（83.4%）が8割を超えて最も高く、以下、「ポスターなどの掲示物」（40.5%）、「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」（33.1%）、「金融機関・コンビニのATM画面」（24.2%）が続く。（図表1-9）

【地域別】

地域別にみると、「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」は“安房地域”（63.6%）が6割台半ばで高くなっている。

「市区町村の防災無線」は“安房地域”（59.1%）が約6割、“君津地域”（51.5%）が5割を超え、“長生地域”（41.0%）が4割を超え、“海匝地域”（38.9%）が約4割で高くなっている。

（図表1-10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞、テレビ、ラジオ」は女性の50代（90.2%）が9割で高くなっている。

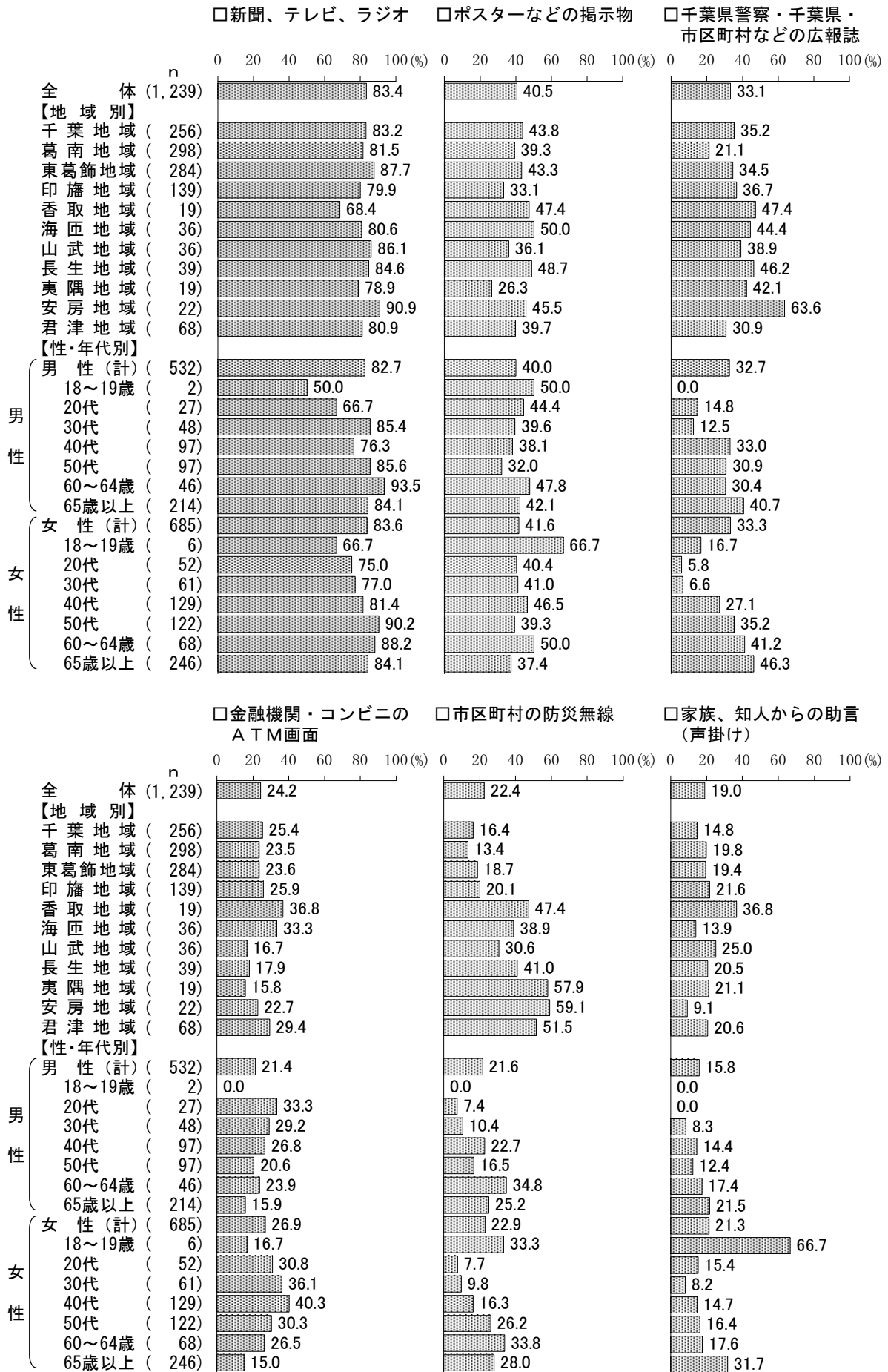
「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」は女性の65歳以上（46.3%）が4割台半ば、男性の65歳以上（40.7%）が4割で高くなっている。

「金融機関・コンビニのATM画面」は女性の40代（40.3%）が4割、女性の30代（36.1%）が3割台半ばで高くなっている。

「市区町村の防災無線」は男性の60～64歳（34.8%）と女性の60～64歳（33.8%）が3割台半ば、女性の65歳以上（28.0%）が約3割で高くなっている。

「家族、知人からの助言（声掛け）」は女性の65歳以上（31.7%）が3割を超えて高くなっている。（図表1-10）

<図表1-10>電話de詐欺の手口を知った媒体（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

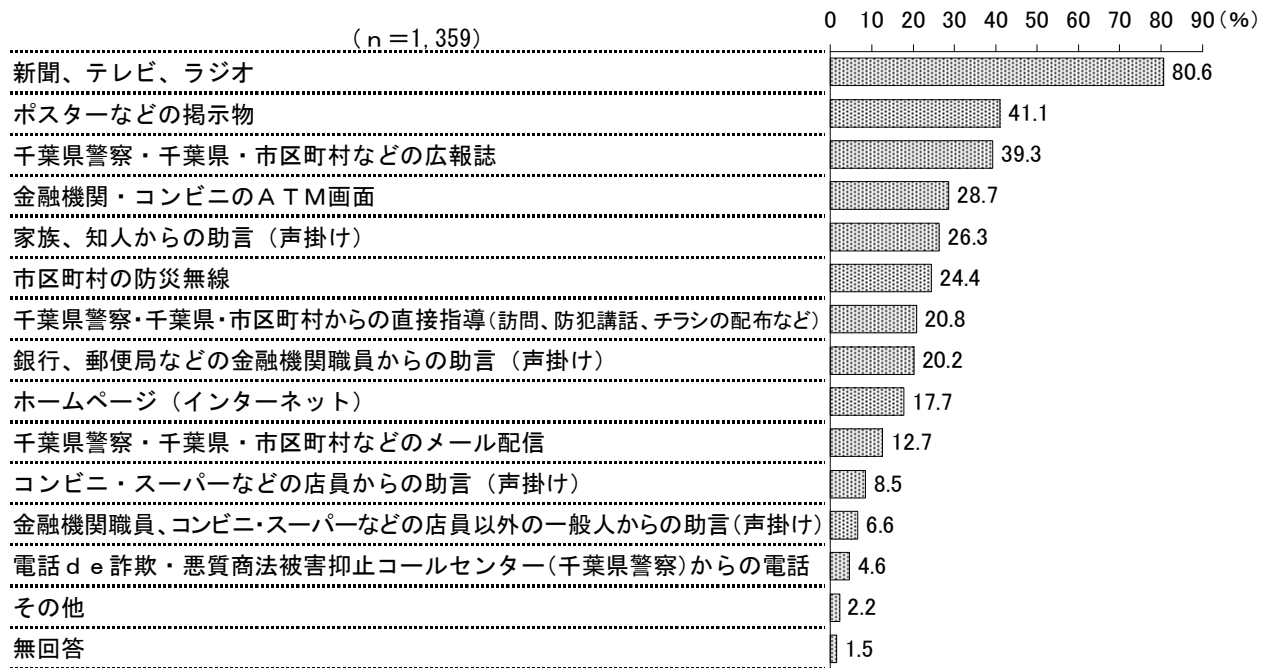


（3）電話 d e 詐欺の手口や対策に関する情報を提供してほしい媒体

◇「新聞、テレビ、ラジオ」が8割

問3 あなたは、自身やご家族が被害に遭わないため、これらの詐欺の手口や対策に関する情報を、今後どのような媒体で得たいと思いますか。（○はいくつでも）

<図表 1-11> 電話 d e 詐欺の手口や対策に関する情報を提供してほしい媒体（複数回答）



電話 d e 詐欺の手口や対策に関する情報を、今後どのような媒体で得たいと思うか聞いたところ、「新聞、テレビ、ラジオ」(80.6%) が8割で最も高く、以下、「ポスターなどの掲示物」(41.1%)、「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」(39.3%)、「金融機関・コンビニのATM画面」(28.7%)が続く。(図表 1-11)

【地域別】

地域別にみると、「新聞、テレビ、ラジオ」は“東葛飾地域” (85.4%) が8割台半ばで高くなっている。

「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」は“安房地域” (65.2%) が6割台半ばで高くなっている。

「金融機関・コンビニのATM画面」は“海匝地域” (43.6%) が4割台半ばで高くなっている。

「市区町村の防災無線」は“夷隅地域” (72.7%) が7割を超え、“安房地域” (56.5%)、“長生地域” (55.0%) が5割台半ば、“君津地域” (39.7%)、“海匝地域” (38.5%) が約4割で高くなっている。(図表 1-12)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ポスターなどの掲示物」は女性の60～64歳 (54.1%) が5割台半ば、女性の40代 (50.0%) が5割で高くなっている。

「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」は女性の60～64歳 (52.7%) が5割を超え、男性の65歳以上 (48.3%) と女性の65歳以上 (49.8%) が約5割で高くなっている。

「金融機関・コンビニのATM画面」は女性の40代 (44.1%) が4割台半ばで高くなっている。

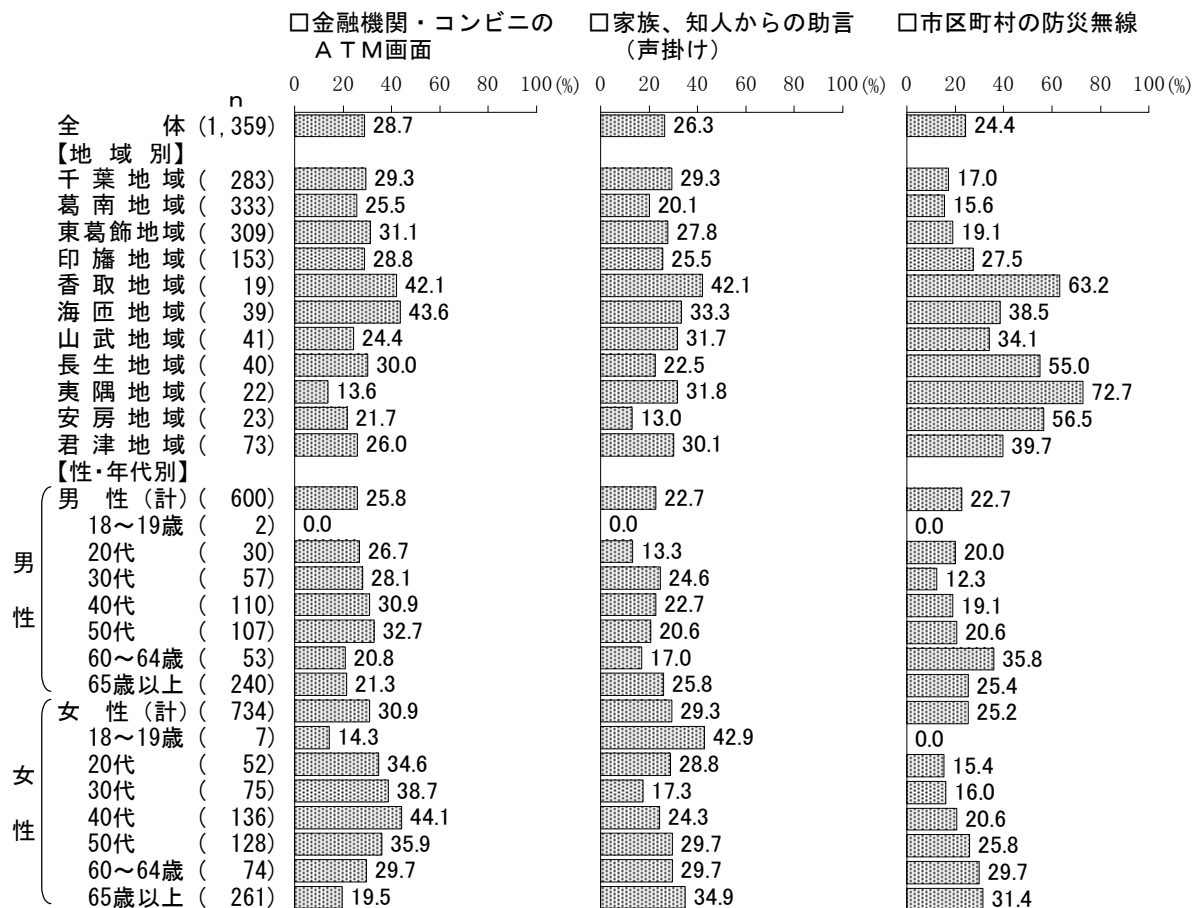
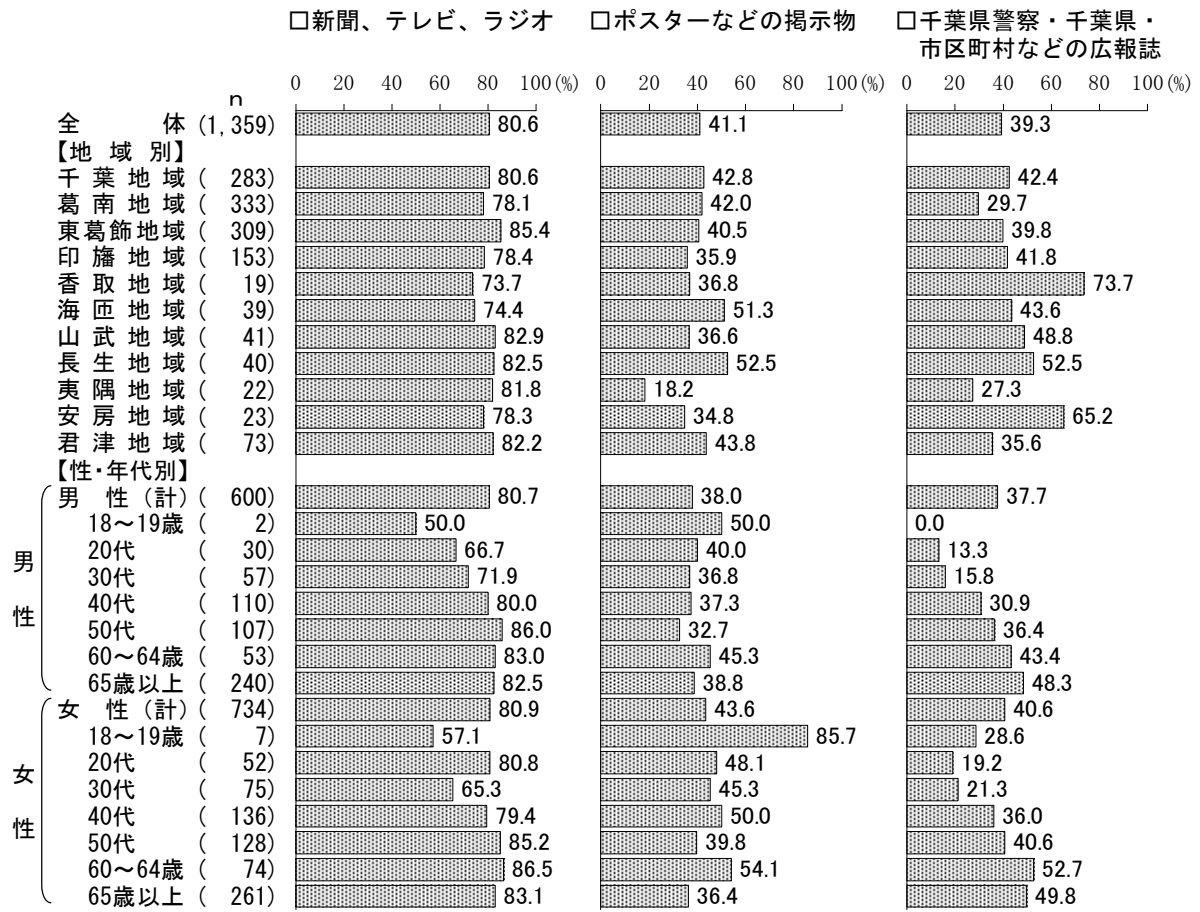
「家族、知人からの助言（声掛け）」は女性の65歳以上 (34.9%) が3割台半ばで高くなっている。

「市区町村の防災無線」は女性の65歳以上 (31.4%) が3割を超えて高くなっている。

(図表 1-12)

<図表1-12> 電話de詐欺の手口や対策に関する情報を提供してほしい媒体（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「電話 d e 詐欺に関する県民の意識について」やここまでの質問（問1～問3）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、201人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「電話 d e 詐欺に関する県民の意識について」の自由回答（抜粋）

- 若い子達が詐欺グループに引き込まれない対策を取ってほしい。詐欺グループの摘発とその後、更生できているのか、後悔しているのならその人達の声を広める事で犯罪に手を染める人が減ると良いのですが。 （女性、65歳以上、葛南地域）
- 電話を使う機会は中々ないので、SNS、インターネットを使った注意喚起を強化してほしい。 （女性、20代、君津地域）
- 自分は大丈夫という意識が強い人がだまされている。電話には、まず出ない。本当に大事な話なら留守電にでも入れるはず、または携帯にかけるはず。留守電を確認してから対応でもいいと思う。 （男性、40代、千葉地域）
- 家族にも「電話 d e 詐欺」を知っているか確認してみましたが、知りませんでした。毎日のように目にする所への掲示、足を止めざるをえない状況で目に入ると効果が出るのではないのでしょうか。 （女性、30代、東葛飾地域）
- 迷った時に相談できる連絡先を、誰もが見そうな媒体で徹底的に周知してほしい。知ろうとしないと手に入らない情報と、必ず知っていないといけない情報を分けて、後者はどんな手段を使っても徹底周知してほしい。 （男性、30代、葛南地域）
- 私が住む地域でも駐在所の方に詐欺防止についての講演を行っていただきました。地域の安全を守る方の講演には、参加者全員が関心深く、そして、意識が高まりました。やはり直接話を聞く環境が一番防止策には有効なのかと思います。 （男性、40代、君津地域）
- 高齢者にとっては、良く聞き取れなかったり、驚いてしまい冷静に判断することが出来ない事があると思う。実際に経験した方のお話を聞くと、参考になるのではと思います。 （女性、65歳以上、千葉地域）
- 小学校で働いています。子どもが家族にあてて、防止をよびかける手紙を書く取り組みを行っています。子どもの時から自らの身を防ぐ手段も身に付けてほしいと考えています。 （女性、30代、千葉地域）
- 成田市の青パトロール車で広報活動していただいています。非常に良い事だと思います。時にはしつこい位にスピーカーで流してもらった方が良い。 （男性、65歳以上、印旛地域）